



2022年9月12日

各位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(コード:8462 東証スタンダード市場)
代表者名:代表取締役 金 武 偉
問合せ先:財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL:075-257-2511)

持株会社体制への移行準備に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年10月1日(予定)を目途に、持株会社体制に移行するため、その準備を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、持株会社体制への移行につきましては、永久保有型 M&A (以下に定義します。) が実行され又は実行が見込まれること、並びに 2023年6月に開催予定の定時株主総会における承認及び関係当局の許認可(もし必要であれば) が得られることを条件に実施する予定です。

記

1. 持株会社体制への移行の背景と目的

当社は、「日本で真の金融を実現する」という理念のもと、地方創生テーマにおいてリーダー的投資会社を目指します。具体的には、当社の地方創生・CVCファンド運営におけるこれまでの実績及びブランド力を武器に、同業務を拡大する予定です。これと並行して、永久保有型の自己資本投資・買収(以下、「永久保有型 M&A」といいます。)の実行を推進します。永久保有型 M&A 対象セクターについては原則制限を設けませんが、サーキュラーエコノミー(循環経済)領域に重点を置いて推進してまいります(本日別途発表した「新・中期ビジョンと成長戦略」ご参照)。

外部資金を用いたファンド形態での投資活動においては、ファンドの存続期間等に応じて投資により取得した持分を一定期間で売却し外部資金を償還することが必要となりますが、上場会社である当社が内部留保資金等の自己資金を用いて投資活動を行うことにより、投資により取得した持分の売却を前提としない投資活動が可能となります。世界的潮流でもあるこの永久保有型 M&A により、優良企業の売却を時間に迫られることなく、

投資先セクターへの知見を深め、同セクター内での他社買収・合併を後押ししつつ、同時に DX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進することで企業価値評価マルチプルを高めることを標榜しております。

地域金融機関とは、地方創生ファンドを通じて地域活性化に寄与しつつ、事業承継案件の M&A を通じた譲受けやそれに伴う融資取引を通じて、関係性を戦略的に深化させて参ります。

このような事業戦略の下、永久保有型 M&A が実現される場合には、これを当社の従前からの地方創生・CVC ファンド運営とは切り分け、迅速かつ柔軟な経営判断ができる体制を構築するとともに、これらのセグメント毎の採算性と事業責任の明確化のほか、さらなるガバナンスの強化を図ることが必要不可欠と考えております。そのため、当社を持株会社とし、地方創生・CVC ファンド運営を担う事業会社及び永久保有目的で今後継続的に投資・買収する事業会社らをそれぞれ子会社として保有する持株会社体制への移行が最適であると考えております。

2. 持株会社体制への移行方法等

持株会社体制への具体的な移行スキーム、持株会社の商号及び持株会社体制移行後の体制等につきましては、今後詳細な検討を実施し、決定次第改めてお知らせします。いずれの移行スキームであっても、持株会社として実質的に株式の上場を維持する方針です。

以 上